

Promulgated on November 3, 1946

Came into effect on May 3, 1947

We, the Japanese people, acting through our duly elected representatives in the National Diet determined that we shall secure for ourselves and our posterity the fruits of peaceful cooperation with all nations and the blessings of liberty throughout this land, and resolved that never again shall we be visited with the horrors of war through the action of government, do proclaim that sovereign power resides with the people and do hereby establish this Constitution. Government is a sacred trust of the people, the authority for which is derived from the people, the powers of which are exercised by the representatives of the people, and the benefits of which are enjoyed by the people. This is a universal principle of mankind upon which this Constitution is founded. We reject all constitutional laws, ordinances, and rescripts in conflict herewith. The Japanese people desire peace for all time and are deeply convinced of the high ideals controlling human relationship, and we have determined to preserve our security and existence, trusting in the justice and faith of the peace-loving peoples of the world. We desire to occupy an honorable place in an international society striving for the abolition of war and the banishment of tyranny and slavery, oppression and intolerance for all time from the earth. We recognize our responsibility to the world for the rights and freedoms of all mankind. We believe that no nation is responsible to itself alone, but that laws of morality are universal, and that obedience to such laws is incumbent upon all nations who would sustain their own sovereignty and their sovereign relations with other nations. We, the Japanese people, pledge our national honor to accomplish these high ideals and purposes with all our resources.

# 誰がために憲法があるに

わたしたちは、世界でいちばん強く、素晴らしい武器をもっている。

出演 渡辺美佐子

高田敏江 寺田路恵 大原ますみ

岩本多代 日色ともゑ 長内美那子

柳川慶子 山口果林 大橋芳枝

監督 井上淳一 脚本 松元ヒロ 監修 マチ子 製作 馬奈木敏太郎  
プロモーション 片嶋二貴 撮影 荒井孝洋 土屋武史 高間賢治 岡山英司  
照明 石田健司 録音 鳥居勝 光地拓郎 ヘアメイク 清水美穂 編集 蛭田智子  
助監督 末永賢 植田浩行 制作 長谷川和彦 宮城広 メイク 小園裕次郎  
宣伝 テレユー、岩本玲 監修 夏のお全 製作 ロクシン、コンドック、ニカ  
配給 宣伝大衆株式会社  
© 2019年「日本」71分「DCP」カラー「D」キャスティング  
誰がために憲法はある 製作運動体 www.gagatame-kenpo.com

# 芸人・松元ヒロの一人語り「憲法くん」を 名優・渡辺美佐子が鎮魂の意を込めて演じる!

「憲法くん」とは、井上ひさし、永六輔、立川談志も絶賛したお笑い芸人・松元ヒロが20年以上、日本国憲法の大切さを伝えるためユーモラスに演じ続けている一人語りである。「憲法くん」はこう言う。「わたしというのは、戦争が終わった後、こんなに恐ろしくて悲しいことは、二度とあってはならない、という思いから生まれた、理想だったではありませんか」。そして、「わたしの初心、わたしの魂は、憲法の前文に書かれています」と憲法前文を一気に暗唱する。憲法に対する深い愛と洞察が込められたこの「憲法くん」を語るのは、「戦争を知る世代として、再び戦争の悲劇がこの国に起こらないように、この役を魂を込めて演じました」という、今年87歳になる名優・渡辺美佐子。文字で読む憲法と違い、本作で朗読される日本国憲法前文は、心の奥深くに突き刺さる。

## 原爆朗読劇を続けるベテラン女優陣が語る戦後、 未来へ託す思いとは――

渡辺美佐子は初恋の人を疎開先の広島原爆で亡くしたことを戦後35年目の1980年になって知った。彼の死を知った渡辺は中心メンバーとなり、現在まで33年間、鎮魂の想いを込めてベテラン女優たちと原爆朗読劇をやり続け全国各地を回っている。しかし、その朗読劇は今年で幕を閉じる。本作では渡辺をはじめ、女優たちがこの活動を通じて抱くそれぞれの思いを語る姿を映し出す。

監督は『大地を受け継ぐ』(15)で原発事故により汚染された土地で農作物を作り続ける農家と、そこを訪れる学生たちの姿を真摯に見つめたドキュメンタリーを手掛けた井上淳一。同作でもタッグを組んだ弁護士の馬奈木巖太郎とともに、「憲法とは何か? なぜできたのか?」という原点を見つめ直すことができる作品を完成させた。子どもから大人まですべての人が日本国憲法について考えるきっかけを与えてくれる必見のドキュメンタリー!



「映画を武器に世界と闘う」とは、我が師・若松孝二の言葉だが、憲法改正がいよいよ現実のものとなつてきそうないま、表現にかかわる者の端くれとして、何もしなくていいのか。そういうやむにやまれぬ思いから、この映画を作った。戦争の記憶が薄れ、憲法にこめられた理想が忘れ去られつつあるいまこそ、ひとりでも多くの人にこの映画が届くことを願うのみである。

(監督 井上淳一)



### 渡辺美佐子

高田敏江 寺田路恵 大原ますみ 岩本多代 日色ともゑ  
長内美那子 柳川慶子 山口果林 大橋芳枝

監督:井上淳一 「憲法くん」作:松元ヒロ 音楽:PANTA 製作:馬奈木巖太郎  
プロデューサー:片嶋一貴 撮影:篤井孝洋 土屋武史 高間賢治 向山英司 照明:石田健司  
録音:白井勝 光地拓郎 ヘアメイク:清水美穂 編集:蛭田智子 助監督:末永賢 植田浩行  
制作:長谷川和彦 宮城広 メイキング:小関裕次郎 宣伝プロデューサー:若本玲  
協力:「夏の会」 製作プロダクション:ドッグシュガー 配給:宣伝:太秦株式会社

【2019年|日本|71分|DCP|カラー|ドキュメンタリー】  
©「誰がために憲法はある」製作運動体

[www.tagatame-kenpou.com](http://www.tagatame-kenpou.com)

☆ 上映期間 ☆  
(※上映期間は変更になる場合がございます。)  
上映決まりました。

CINEMA e-ra.  
株式会社浜松市民映画館  
〒430-0944浜松市中区田町315-34  
笠井屋ビル3F TEL053-489-5539